

## 善行市民センター等改築事業説明会 会議録

開催日時	2017年3月4日(土) 18時～19時30分
開催場所	善行市民センター 体育室
参加者	<市民> 105名 <市側> 市民自治推進課 生涯学習総務課 福祉総務課 高齢者支援課 総合市民図書館 公共建築課 善行市民センター
配付資料	① 次第 ② 基本設計[フロア構成図] ③ (裏面) スケジュール

### 1 開会

### 2 市民自治部長挨拶

こんばんは。改築事業の説明会にお集まりくださりましてありがとうございます。善行市民センターは、昭和54年にできて、40年が経過しています。せまかったり、ホールがなかったりと、ご不便をおかけしているかと思えます。建て替えに関しては地区の要望を伺って、2年間建設検討委員会、定永委員長をはじめとして皆様からご討議いただいて、今日ここまでくることができました。感謝申し上げます。建て替えにあたりましては、何回も今の状況をご説明していますが、40年、50年使っていただく建物になりますので、皆様が笑顔で使っていただけるよう願っています。基本設計に入り、ある程度出来上がってきました。来年実施設計に入っていきます。2020年オリンピックに江の島でセーリングが実施されます。善行市民センターは、先駆けて3月くらいに完成します。その後、今のセンターを壊して、健康プラザ・体育棟ができるのは2021年になります。ぜひこれからも善行市民センター中心に地域の皆様が末永く利用していただくことを願ひまして、ご挨拶とさせていただきます。

### 3 議事

善行市民センター・公民館の再整備につきましては、平成27年度に基本構想を策定いたしました。今年度は、地域団体や近隣町内会及び藤沢市職員で構成する建設検討委員会で引き続き基本設計に取り組んでおりまして、本日、その進捗状況についてご説明するものです。

#### 1 改築の必要性について

善行市民センター・公民館につきましては、昭和54年の建設でありまして、築37年が経過しております。旧耐震基準で建築された建物であること、床のタイルも剥がれてい

るなど老朽化しており、狭い・バリアフリーに対応していないなどの問題を抱えております。また、地区の防災拠点としても機能強化を図っていく必要がございます。

## 2 検討の経緯

平成23年12月に「郷土づくり推進会議」の前身となる地域経営会議「ぜんぎょう」から善行市民センター・公民館の建て替えの提言書が提出され、その後、市の方でも関係各課による検討・調整を行ってきました。また、藤沢市は、平成26年3月に「藤沢市公共施設再整備基本方針」を策定し、平成26年11月には「藤沢市公共施設再整備プラン」を策定し、善行市民センター・公民館の建て替えにつきましては、その中で、具体的に再整備を進める短期プランに位置づけられ、建て替えを進めることを明確にいたしました。平成27年6月からは、地域団体の代表者や市役所関係課により組織した「善行市民センター・公民館建設検討委員会」を設置いたしまして、新しい施設の配置やフロア構成等の検討を行い、平成28年3月に基本構想を策定いたしました。そして、平成28年度からは基本設計に取り組んでいるところでございます。

## 3 対象敷地について

資料は航空写真となっております、上が北となります。右には小田急線、善行駅が写っており、下の方に行きますと藤沢方面となっております。現在の市民センター、南側に旧平和台住宅、西にアスファルトの駐車場です。善行地域包括支援センターである「善行いきいきサポートセンター」、ここが善行地区ボランティアセンターである「パートナーシップ善行」です。現在、皆様から見て右手に旧平和台住宅がございましたが、解体工事を行った結果、現在は更地となっております。

## 4 新施設の機能

まず、1つ目が善行市民センター・公民館・市民図書室でございます。施設の概要といたしましては、戸籍・住民票の交付や各種受付の業務、身近な福祉窓口の業務、地域団体の業務、そして公民館や市民図書室など地域活動の中心的施設な施設でございます。2つ目は善行地域包括支援センターについてでございます。現在は、道路を挟んで北側の建物にございます。高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう、主任介護支援専門員や社会福祉士、保健師等が中心となって支援を行う施設でございます。3つ目の善行地区ボランティアセンターについてでございます。市民センター敷地内の別棟の建物内にございます。ボランティア活動をしたい人や支援を求めている人の相談を受け、調整や紹介を行うなど、地域福祉活動を推進する施設でございます。以上3つの施設につきましては、現在別棟になっており、連携が取りにくく、高齢者や障がいのある方などの利用に対するバリアフリー対策等も不十分であるため、これらを集約することで、効率的な運営と機能の充実を図っていきます。

## 5 改築に当たっての基本的考え方

安全性の確保、施設の長寿命化、機能の集約・複合化、ユニバーサルデザイン、防災機能の強化、環境配慮、既存施設の解体です。

## 6 整備コンセプト

『楽しく、元気な日々の暮らしを育む拠点づくり』とし、大きく4つの機能を持った地域の拠点とします。

### ① 自然に人や情報が集まる、「交流促進拠点」とします。

子どもから高齢者まで、地域の人たちが自然に集まることで、日常的に人と情報が行き交い、様々な交流を生み出すような施設とします。

### ② 生涯学習活動を通してまちの文化を発信する、「文化発信拠点」とします。

サークル活動をより一層活発化し、これらの活動を通して、善行地区に育まれてきたまちの文化を地区内外に広く発信していくための施設とします。

### ③ 安全・安心な暮らしを支える、「生活安心拠点」とします。

乳幼児や子ども、高齢者、障がいのある方及びその家族が情報共有し連携を深める場とするほか、災害時における防災拠点としての機能を高め、地域の人々の安心した暮らしを支える施設とします。

### ④ 地域のまちづくりをすすめる活力を育む、「人材育成拠点」とします。

地域の様々なコミュニティ活動や公民館活動を通して、より良いまちづくりを地域自らが担うための人材を育む施設とします。

## 7 施設構成イメージ

先ほどの整備コンセプトを具体化するものとして、「ぜんぎょうプラザ」という新たな空間を確保します。これにより、多くの人が自然に集まる仕組みとし、地区住民の皆様の交流促進を図っていきたいと考えております。

## 8 ぜんぎょうプラザ

では、ぜんぎょうプラザとは何かと申しますと、地域の居場所、交流、情報発信の場として考えております。だれでも気軽に利用でき、特に目的がない時でもふらっと行って一時を過ごすことができる、居心地の良い場所。談話・休憩スペースで、たまたま居合わせた人と話が弾み、友人になれるような場所。利用者同士で新たな交流が生まれ、そのつながりから新たな活動や情報が生まれるような場所。地域内の様々な情報を得ることができ、その情報をきっかけに興味ある団体活動や講座に参加するなど、活動の和が広がっていく場所にしたいと考えております。

## 9 配置のイメージ

先ほどの対象敷地の図と同じく、上が北で善行駅の方、右は小田急線で、下の方に行き

ますと藤沢方面となっております。

#### 【市民センター棟】

現在は、更地になっております旧平和台住宅の跡地に新しい市民センター棟を建設し、新しい市民センター棟が出来上がりましたから、引越作業を行い、引越が終わってから、現在このあたりにあります市民センターを解体いたします。

#### 【健康プラザ棟】

解体工事が終わりましたから、体育室機能である健康プラザ棟を建設する計画です。スポーツや趣味などグループ活動に参加していただき、健康になっていただきたいと「健康プラザ棟」という名称となっております。

#### 【防災備蓄倉庫】

災害時の食糧や毛布、簡易トイレなどを備蓄いたします。

#### 【東側駐車場】

東側駐車場には、30台分の駐車スペースを確保し、入口はこちらとなります。このほか、バイク15台、駐輪スペースとして2カ所、55台分の計画です。歩行者の入口は、西側のほか、駅からの入り口になりますが、歩行者アプローチも設けます。

#### 【西側駐車場】

西側駐車場には25台分の駐車スペースを配置し、入口は現在の入口とほぼ同じ場所とする計画です。基本構想においては、市民センター棟側に入口を設ける計画としておりましたが、高低差があり急なスロープになってしまうこと、東側駐車場の入口と正面になってしまうこと、交差点、横断歩道からの距離、などを検討した結果、東側に入口を設置することが難しいと判断したため、現在と同様に北側に出入口を設け、入口の幅を広めにとることといたしました。歩行者の方が市民センターへ移動する動線も、現在と同じ位置での計画とします。現在、第3駐車場（砂利駐車場）の奥にあります「埋設型の防災トイレ」について、この西側駐車場の中に配置する計画となっております。

#### 【地域利用倉庫】

また、デッドスペースには現在市民センター内に点在している倉庫をまとめ、1棟にして建築します。

### 10 フロア構成① 1階

皆様のお手元のA3版の資料3にも同じような図面を印刷いたしました。

パワーポイントの方が細かい図面となっております。図面、配置ともに現時点の検討段階のもので、変更になる場合がございます。建物は3階建てで、別棟の地域利用倉庫約1000㎡を含め、計画面積は約3,319㎡としています。

【建物】市民センター棟、健康プラザ棟・体育室でございます。両方が完成いたしますとL字型の配置になります。基本構想では市民センター棟と健康プラザ棟は直角に配置しておりましたが、線路側の道路と平行に配置することで駐車場側敷地にスペースを生み出し、歩行者アプローチも整備できるようになりました。

【ぜんぎょうプラザ】地域の方の居場所・交流・情報発信の場となりますので、市民センター棟と健康プラザ棟の扇の要の位置に配置しております。お手元の図面では、外にテラスを設ける計画としていましたが、現時点では緑化ブロックに変更する予定でございます。

【事務室】玄関から入って右側、こちらが市民センター事務室、その奥が地域包括支援センターとなっております、高齢者のみなさんを支える機能となります。

【その他】中央にはエレベーターと階段を配置します。東側にはトイレや授乳室を配置します。基本構想では、エントランスホールや「ぜんぎょうプラザ」、エレベーターや階段を西側に配置しておりましたが、これらを中央に変更し、利用者が「ぜんぎょうプラザ」やコモンスペースを経由するとともに、各部屋にスムーズに移動できるようになりました。ここまでが1期工事となります。

【健康プラザ】北側にあります健康プラザ・体育室は、現市民センターを解体後に2期工事として着工するものです。健康プラザの面積は432㎡で、バドミントンコートが2面、6人制バレーボール、ミニバスケットができる広さになります。基本構想では、市民センター棟の2階にあたる健康プラザ棟のこのあたりに談話室を1室設ける計画でしたが、市民センター棟の中に集約することになりました。

#### 1.1 フロア構成② 2階

【市民図書室】階段、エレベーターを上がってすぐのところになります。収納の場所がもっと必要なのではということで、現時点では、お手元の図面より、倉庫を拡充する予定でございます。

【談話室】こちらが談話室1、こちらが談話室2で、会議などで使用する部屋です。こちらが保育室で、こちらが和室です。保育室は、いままで善行公民館にはごさいませんでした。保育付きの講演会や講座、乳幼児を対象とした事業を実施することができます。保育室と和室は隣り合っています。和室とは壁でなく可動式の間仕切りにする予定ですので、使い勝手が良くなると思われます。また、括弧書きで談話室4としておりますのは、現在の市民センター・公民館は談話室が2つしかありませんでしたが、建て替え後の談話室は3つになり、それでも不足する場合は保育室を談話室としても使えるような仕様を考えているため談話室4の表示となっております。

【ボランティアセンター】ボランティア活動をしたい人と、支援を求めている人とのコーディネートを行います。

【コモンスペース】図書室の前ですので、読書にも使えますし、地域活動団体やサークルの会員が打ち合わせ等に使っていただき、地域活動がより活発になればと考えております。

【その他】団体ロッカー室、印刷室、トイレ、この部分は吹き抜けとなっております。

#### 1.2 フロア構成③ 3階

まず多目的ホールでございます。現在は、体育室とホールが兼用となっておりますが、新たにホールができることとなります。面積は322㎡、定員は250人を想定しており

ます。北側がステージ、南側のバルコニーは避難用として設置するもので通常は利用することはありません。そして談話室3、南側に調理のできる実習室、コーラスや音楽練習等ができる文化室を配置しています。

建物全体といたしましては、会議室となります談話室が現在の2室から3室になり、保育室も談話室として使用できること及び独立したホールも設置することから、サークル団体等の方には利用しやすい市民センター・公民館になると考えております。

### 1.3 断面図

現時点での検討段階の数値ですが、センター棟の南側で約12.5m、北側で約14mとしています。

### 1.4 模型による建物イメージ

北西からの鳥瞰図となっております。利用者の方は現在と同じように、道路を横断していただくようになります。この図では壁の部分がガラスのように見えますが、模型のため柱が見えるようになっているだけで、実際には壁ができます。

### 1.5 スケジュール

#### 【平成29年度まで】

平成27年度に基本構想を作成し、今年度は基本設計、来年度に実施設計を行います。また28年度には並行して敷地の測量と地質調査を実施しております。隣の旧平和台住宅の解体工事が終了いたしました。また、平成29年度には、文化財調査も実施いたします。

#### 【平成30年度から】

平成30・31年度には市民センター棟の建築工事を行い、東京オリンピックパラリンピックが開催される平成32年の3月に市民センター棟のオープンを目指しております。

#### 【平成32年度以降】

平成32年度には現在の市民センターを解体し、平成33年度には健康プラザ棟・体育室の建築工事を実施します。このため健康プラザ棟が完成する平成33年度末までの間、概ね2年程度体育室が利用できない期間が生じますが、利用者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。

市民センター・公民館の近隣にお住まいの皆様には、先日までの旧平和台住宅の解体工事、現在行っております地質調査等で振動やら騒音等、大変なご迷惑をお掛けしております、本当に申し訳ございません。引き続きご理解、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

以上で善行市民センター・公民館改築事業の現時点での検討状況のご説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

#### 4 質疑応答

質問1 屋上	
	本庁の設計会社と同じなのか。本庁は市民の憩いの場として、屋上にコミュニティスペースがあって、市民のことを考えている設計になっている。善行地区は坂が多く、高台に建つなら、江の島がみえる屋上を作るとか、南側にベランダを作ってくれないのか。多少建設を遅らせてもいいから住民主体の建設をしていただきたい。
回答	善行市民センター
	先日の建設検討委員会で、検討したが、今は屋上に登れるようになっていない。階段を作る必要があるし、安全を確保する必要がある、費用の問題もあるので難しい。住民のことを考えているのかということは、地区の説明会、近隣の方の説明、アンケートなどで住民の方の意見も取り入れている。具体的にあれば、ぜひおっしゃっていただきたい。

質問2 駐車場の周り	
	駐車場の周りは緑地化するのか
回答	善行市民センター
	緑地化します

質問3 健康プラザ	
	健康プラザの用具入れは⑥の下の部分に作るのか。せまくて使いづらいのではないのか。健康プラザを建てている間は使えないが、その間市民センター棟の他の部屋を代替えとして使えるのか。
回答	市民自治推進課
	倉庫ということで何も書いていないが、北東に器具庫がある。
回答	善行市民センター
	新しい施設では、多目的ホールは、発表会や会議に使っていただく。スポーツ、球技に関しては使えない。

質問4 多目的ホール	
	多目的ホールというのは具体的にどういった機能を持つのか。音響的にどうなのかとか十分に検討されているのか。会議室と併用するというので、汎用的なものを考えているのか。専門家が検討するのか。 湘南大庭市民センターのホールは、観客席、音響効果は十分に考えられている。せっかく分けて作るのなら、それぞれそれなりの機能をもたせた部屋にしてもらいたい。音の点で不都合があることが多いので、せっかく建てるのなら音楽にも適し

	た部屋にしてもらいたい。今と大して変わらないのであれば、体育室から多目的ホールとして分けても、機能的にはメリットはない。音が響くような建物にしてほしい。
回答	市民自治推進課
	<p>現在は体育室兼ホールということで兼ねているものを、新しく別々に設ける。多目的ホールにはステージを設けるので、公民館まつりや講演会など大勢の人数を集めて、ステージを使うものを想定している。</p> <p>音響が入るものは文化室を想定しており、今後実施設計の中で検討するが、文化室ほどの設備を強化するとは考えていないので、一定の配慮をしたものになる。音響に関してご不便を感じている面は、多目的ホールの天井の造りかとかで一定の配慮はできるかもしれない。音楽を重視した造りにはならないと思うが、今後検討する。湘南大庭市民センターなどの規模と同じものをつくれるかという点も難しい。音楽の演奏を目的としたホールは難しい。発表会などの利用もあるので、談話室レベルではなく、一定の音の配慮はできる造りにしたい。実施設計の中でご意見として検討していく。今日のご意見を来年の実施設計に取り込んでいく。</p> <p>次回の説明会日程は未定。ご意見、ご要望ありましたら、センターまでお願いします。</p>

質問5 文化室	
	3階の文化室は、音楽室として機能しており、ピアノも置いている。大きな楽器の弦楽器、ジャズの方も使うので、広い部屋にして欲しい。音楽室は御所見をよく使うが狭い。大きな楽器を入れて練習する場合、合奏のときには相当入るので広い方がよい。現在と新施設とではどれくらい差があるのか。来週春のコンサートもあるし、広くとっていただきたい。
回答	市民自治推進課
	談話室を増やしてほしいということでこの配置になっているので、今の段階ではこのままです。現在の文化室が約50㎡となっている。
回答	生涯学習総務課
	他の公民館の平均的な文化室の広さが64㎡であり、比べて狭いということはない。色々なサークルからの要望を伺って、談話室が2つしかないということがあり、そちらを優先している。

質問6 貯水槽 部屋数	
	高台で防災センターになるとおもうが、貯水槽は考えていないのか。また、防災センターになるのであれば、もう1棟層ほしい。談話室が増えたが、団体活動が盛んに行われている。石名坂のプールは、会議室が1つしかない。部屋が増えれば、ま

	たそれなりに需要は増えるので、2階のお部屋を増やしてほしい。藤沢公民館には小さい部屋が2つ3つあったので、部屋を分けてもいいのではないか。防災センターと考えると、もう1フロアほしい
回答	市民自治推進課
	貯水槽 飲み水として、100トン水槽が浄水で整備されているので、そのまま残す。
回答	生涯学習総務課
	抽選会などで厳しい倍率ということかもしれないが、部屋の数、他の公民館とのバランスも考えた上で検討しているので、このままでお願いします。
回答	市民自治推進課
	4階建てにすると、大きくすれば利用勝手はいいが、40年50年先を見据えて、一番高いところに位置することや、周辺住宅環境とのバランスを考えて、3階建ての建物にしている。福祉避難所、防災拠点本部ということで、市民センターは避難所そのものではなく、小学校、中学校などが避難所になる。大人数を収容するわけではなく、フォローが必要な方のみなので、この大きさを機能を果たせるものと考えている。

質問7 実習室の面積 太陽光パネル	
	体育室、実習室の面積は今のものと比べて大きいのか。 太陽光パネルとかの設置はするのか。
回答	市民自治推進課
	実習室は、現在73㎡で、大体同じくらいの規模を考えている。現在の体育室のフロア面積は360㎡なので、現在より少し大きくなる。 屋上の活用については、市民センター棟の上に太陽光パネルであるとか、設備関係の機材をおくことになっている。規模などは実施設計の中で検討する。

質問8 健康プラザ 受水槽	
	健康プラザには、冷暖房、空調の関係、シャワーの設置があるのか。 検討委員会は、地元の町内会とか参加しているが、素人もいるし建築関係もいるので、六会とか最近の建物を視察して検討してもらったらいいいのではないか。 100トン水槽はこの建物とは関係ないので、受水槽は大きなものを設置してもらいたい。
回答	市民自治推進課
	健康プラザに空調設備は設置予定。どういうものかは今後検討するが、下からあたためる方式など現在検討中。シャワーは現在も設置されているが新施設でも設置予定。

	建設検討委員会で、他のセンターも参考にしながら検討している。 受水槽の規模は設備の中で使用水量などを整理してから検討する。
--	--

質問9 駅からのバリアフリー	
	善行駅からここまでのバリアフリーはどうか。 構想があるが、進捗状況はどうか。
回答	善行市民センター
	本日、担当課不在のため回答が難しい。

質問10 駅からの動線	
	駅からの歩行者の動線が心配。 駐車場の入り口の道路は、すれ違えないので、道路の整備もお願いしたい。
回答	市民自治推進課
	メイン入り口は西側の大きな道路側になるが、駅からの歩行者アプローチとして健康プラザ棟西側に入口を計画している。 西側駐車場について、道路の拡幅は現在の計画の中では考えていない。入口を広くとって、入口で待機をしてもらい、すれ違いができるよう運用したい。

質問11 実施設計の説明	
	実施設計の説明で、部屋のあらましを説明してもらいたい
回答	善行市民センター
	利用者アンケートをさせていただいた512件のご意見の中で、部屋仕様のご意見は170件あった。実施設計の中ではアンケートの中身も検討する。実施設計の説明会の日程は未定のため、今後ご案内する。

要望1 トイレ 建物管理	
	トイレは、いろいろな世代の方が使うので、隅の方に作られることが多いが、これからは広くて使いやすいものを作っていただきたい。公共物はトイレの故障が多い。水漏れ、つまりなど。シンプルに作って、修理がしやすい形で作っていただきたい。障がいも色々あるが、ストーマを使っている方も使えるようにしていただきたい。建物の維持管理をどうするのか。建物の寿命は、管理で決まるので、管理者をきちんととして、長く愛される市民センターにしていきたい。

※トイレについては、車いす使用者をはじめ誰もが利用しやすい「みんなのトイレ」を各階に設置する計画としています。設備等の詳細については実施設計において検討します。

要望2 意見、要望の取り入れ	
	長く使っていく若い人たちの意見、要望を取り入れてほしい。
回答	善行市民センター
	市民センターでもご意見ご要望を伺うので、そちらでお願いします。

## 5 閉会

(19:30)